



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当については毎年3月31日 中間配当および株主優待については毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(公告掲載アドレス)	http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●氏名・住所等の変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定(※)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

NAGANO trend 25

伝統工芸「飯田水引」

当 社本店所在地のある長野県では、野沢菜や信州そば等が伝統産業として知られていますが、長野県下伊那、飯田地方の「飯田水引」も伝統産業のひとつです。何世代にもわたって伝え続けられてきた300余年の歴史を数える飯田水引は、現在全国の水引製品の約70%を生産しています。水引とは、和紙を伝統的な製法によって色鮮やかに加工したひも形状のもので、手の技による「結び」を基本としています。品質の高い素材を使い、熟練した職人たちの手によって作り出される飯田水引は、日本の皇室にも献上されています。また、1998年に長野県で開催された冬季オリンピック・パラリンピックでは、パラリンピック入賞者に飯田の水引で作られた月桂樹冠が授与され、また、参加選手、役員、海外報道関係者にも、記念品として水引細工が贈与され、世界に水引の名前が知られるようになりました。人と人との縁を、心と心をつなぐといわれる水引。大切な人への感謝や愛情を込めて、気持ちを伝えるという大切な意味があり、今もなおその文化は大切に引き継がれています。



UD FONT



Takano
タカノ株式会社

証券コード：7885

タカノ通信 Vol.36



©Snowman Enterprises Ltd. 2013 Licensed by Plazastyle Co., Ltd.

第61期 中間報告書

2013年4月1日から2013年9月30日まで



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社の第61期第2四半期累計期間の業績ならびに通期の見通しについて次のとおりご報告させていただきます。

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な経済財政政策を背景に、輸出、個人消費、設備投資ともに持ち直しの動きが見られ、景気は全般として改善傾向を示したものの、世界経済の動きは引き続き鈍く、今後の景気の先行きは、なお予断を許さない状況で推移しております。このような環境のもとで、当社グループは新たな中期経営計画「Grow up 63」の基本方針「中期的な事業の成長を確保するため、新しい分野に対する『攻め』を徹底して行う」の実行と、施策項目であ

る「全社的組織構造改革」、「新事業領域への展開」、「グローバル事業展開基盤の構築」、「損失計上分野の大胆な見直し」の実現を図るべく活動を行ってまいりました。
しかしながら、住生活関連機器の販売増はあったものの、検査計測機器の販売の大幅な減少の影響は大きく、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,219百万円で、前年同四半期比1,575百万円（20.2％）の減収となりました。
利益面につきましては、販売の減少による粗利益の減少を補うべく、積極的なコスト削減による原価低減と経費の徹底的な削減につとめたものの、営業損失368百万円（前年同四半期は営業損失107百万円）、経常損失304百万円（前年同四半期は経常損失106百万円）、四半期純損失437百万円（前年同四半期は四半期純損失193百万円）となりました。



代表取締役社長
鷹野 準



To Our Shareholders

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、政府による積極的な経済財政政策に加え、この下半期においては消費税の駆け込み需要の発生等も予想されるなか、足元の景気は上向き傾向で推移することが予想されます。しかしながら、設備過剰感は依然として残るなか、製造業における設備投資の動きは鈍く、当社事業に関する経営環境は引き続き厳しいものとなることが予想されます。
このような厳しい環境にあって、当社グループは中期経営計画に掲げる取り組みを着実に実行し、新たな成長を築くための新事業・新分野の開発・開拓を行うことで、業績の回復を図るとともに確固たる利益体質を築くべく、施策の前倒し実施を行ってまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点で、本年5月10日に公表いたしました予想と変更はなく、右表のとおりとなっております。



通期業績の見通し

	連 結	単 体
売 上 高	15,430百万円 (前期比6.5%減)	12,650百万円 (前期比11.6%減)
経常利益	10百万円	△110百万円
当期純利益	△70百万円	△150百万円



新事業開発の展開について

本年見直しを行ったタカノの中期経営計画「Grow up 63」においては、中期的な事業の成長性を確保するため、新しい分野に対する攻め（成長戦略）を徹底して行うことに重点を置き、事業構造の改革を図っていくこととしています。

これらの攻めの戦略を推進するため、タカノでは2010年7月より新事業開発部を設置して、センサ分野（圧力分布測定システム）、環境エネルギー分野（スマートエクステリア等）、ライフサイエンス分野（医療診断システム）、電子デバイス分野（有機EL照明パネル検査装置）の4分野の事業開発への取り組みを行っています。

今回は、特集として電子デバイス分野（有機EL照明パネル検査装置）に関する事業開発の取り組みと製品のご紹介をします。

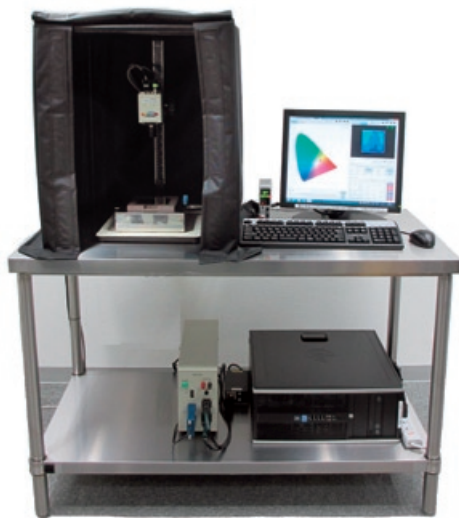
有機EL照明パネル検査装置の開発の背景等

次世代の光源として期待されている有機EL照明は、発光効率が蛍光灯に近づきつつあること、製造コストが安く抑えられるようになってきたこと等により、今後、民生用への普及が期待され、中・長期的に市場規模の急拡大が予想されています。

しかしながら、いまだ材料技術・製造技術上の課題は多く、国内外の有機EL照明製造各社とも、製造歩留まりが飛躍的に改善するにはいたっていません。そのため、内外各社とも材料技術・製造技術を確認すべく、研究開発に力を入れております。

このように、今後の需要が見込まれ、かつ、製造上の課題を抱える有機EL照明に対して、液晶向け検査計測装置で培った技術を活かして、事業化を行うべく、タカノでは有機EL照明パネル検査装置の開発に取り組んでまいりました。

本年、タカノは開発を行った有機EL照明パネル検査装置を上市し、このたび検査システムとして国内EL照明パネルメーカーから受注を獲得しました。今後は一定の事業化に向け、さらに開発・販売に注力してまいります。



有機EL照明パネル検査装置(卓上型)

開発商品有機EL照明パネル向け検査装置「OISシリーズ」のご紹介

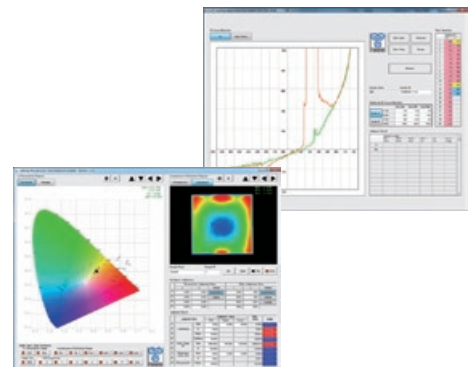
いまだに材料技術・製造技術上の課題が多い有機EL照明パネルですが、現状では、製造された有機EL照明パネルのなかには一定期間は問題なく点灯するものの、電気的な問題から突然点灯停止してしまうものが生じています。

このように突然点灯停止してしまう製品に対しては、従来からある検査手法では、良品に対しても損傷を与えてしまうとともに検査時間は最長30日程度かかるなど、良否判定することに困難がともなうため、有機EL照明製造各社ともこれらへの対応が大きな課題となっていました。

タカノでは、これらの突然点灯停止という課題に対して、短時間でのエージング検査を可能とする独自検査技術開発を行いました。また、独自検査技術に加え、有機EL照明パネルの劣化寿命を5種類のクラスに評価して分類する劣化寿命評価機能の開発を行いました。

さらに、エージング検査中においては有機EL照明パネルが点灯することとなるため、その点灯を利用し、色調（色むら、輝度、色温度、部分欠陥箇所等）の検査をする機能を付加し、多様な機能を持った有機EL照明パネル向け欠陥検査装置「OISシリーズ」の開発をしています。

※エージング検査（加速劣化検査）とは
製品保証にあたり、製品を過酷な条件下におくことで、製品の経時変化や劣化を加速的に生じさせることにより、製品の劣化や寿命を評価する検査方法。



OISシリーズ検査表示画像

製品の特徴

①短時間エージング検査

従来最大30日の検査時間を要していたエージング検査を10分以下で行うことができます。

②劣化寿命評価機能

エージング検査により選別された製品をさらに劣化寿命判定を行うことで、有機EL照明パネルを5種類の寿命クラスに分け、管理をすることができます。

③高解像色調検査機能

エージング検査中における有機EL照明パネルの点灯時に撮像した画像から、ほぼ人の色知覚に基づく色の評価や比較を行うことができます。



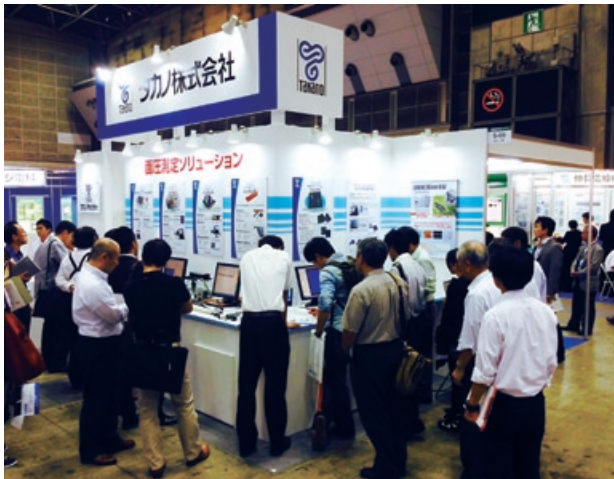
7種類のセンサを展示会で提案 センサエキスポジャパン2013に出展

本年9月25日から27日にかけて東京ビッグサイトで開催された「センサエキスポジャパン2013」に、タカノ新事業開発部が開発したセンサを出展しました。

ズレやねじれを測る「マルチポイントベクトルセンサ」や、水の落ちる圧力を感知する「インプレス（防水・微小圧タイプ）」、触感分布センサ「フェイト」など、全7種類を出展しました。

期間中タカノブースへは、電気電子関連、自動車関連のお客様が多く来場され製品をご覧いただくことができました。また、来場者にアンケートを実施したところ約380名の方にご回答いただき、貴重なご意見、ご要望を頂戴しました。

今後は、さらにお客様のニーズを取り入れ、開発のスピードアップを図っていきます。



Close Up

タカノ イノベーション コンテスト開催される

タカノでは、社内に埋もれている新規事業化テーマ・新製品テーマ等の発掘、チャレンジ精神ある活発な企業風土・文化の醸成および経営層と従業員間での社内コミュニケーション機会の拡大を目的とし、これによりタカノの事業革新につなげるべく、事業化企画・商品企画公募報奨制度「タカノ イノベーション コンテスト」を本年より導入しています。

本年2月より、タカノおよび当社グループ会社の従業員より募集を受け、書類審査・面接審査等を経て、本年8月にプレゼンテーションによる最終審査の結果、5名の入賞者を決定し、それぞれ表彰しております。入賞となった事業化等テーマのうち3テーマはタカノとしてその事業化に向けた検討を行っていくこととしています。

このコンテストは来年度も継続して実施することとしており、継続的な取り組みによりチャレンジ精神ある活発な企業風土・文化の醸成を図り、タカノの将来の成長性確保・事業革新につなげてまいりたいと考えています。

Close Up

エクステリア部門の新製品「リパーロ」 グッドデザイン賞受賞

タカノエクステリア部門が新たに開発した簡易施工式自立型オーニング「リパーロ」が、本年10月1日に公益財団法人 日本デザイン振興会主催の「2013年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

このオーニングの特徴は、ウェイト機能を持たせた移設可能な据え置き式基礎ベースをオーニングの固定方式として開発・採用したことです。これは業界初の試みであり、このことにより、屋上など従来設置できなかった場所での使用が可能になりました。そして、ウェイトブロックを分解可能な構造にすることで、破壊することなく容易に移設ができます。

また、設置する敷地スペースの条件に合わせ、増設、サイズ展開ができるよう連棟可能な構造になっているため、どのようなスペースにも様々な組み合わせで対応できます。このように、今までにない拡張性の高さや、基礎工事と移設の容易性、そして設置場所を選ばないところが評価され受賞に至ったものです。

このグッドデザイン賞の受賞を契機として、各種施設等のお客様へオーニング製品の販売を拡大させてまいります。



リパーロ

Close Up

インフォメーション

上場株式の配当金に関する『源泉徴収税率』変更のご案内

- ◆2014年1月1日以降に支払いを受ける、上場株式の配当金には、原則として20%（所得税15%、住民税5%）の源泉徴収税率が適用になります。
- ◆また、2037年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることになっております。
- 2014年以降、上場株式の配当金には、復興特別所得税を含め、20.315%（※）の源泉徴収税率が適用になります。**
- （※）所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%

	平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から 平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所得税（含む復興特別所得税）	7.147%	15.315%	15%
住民税	3%	5%	5%
合計	10.147%	20.315%	20%

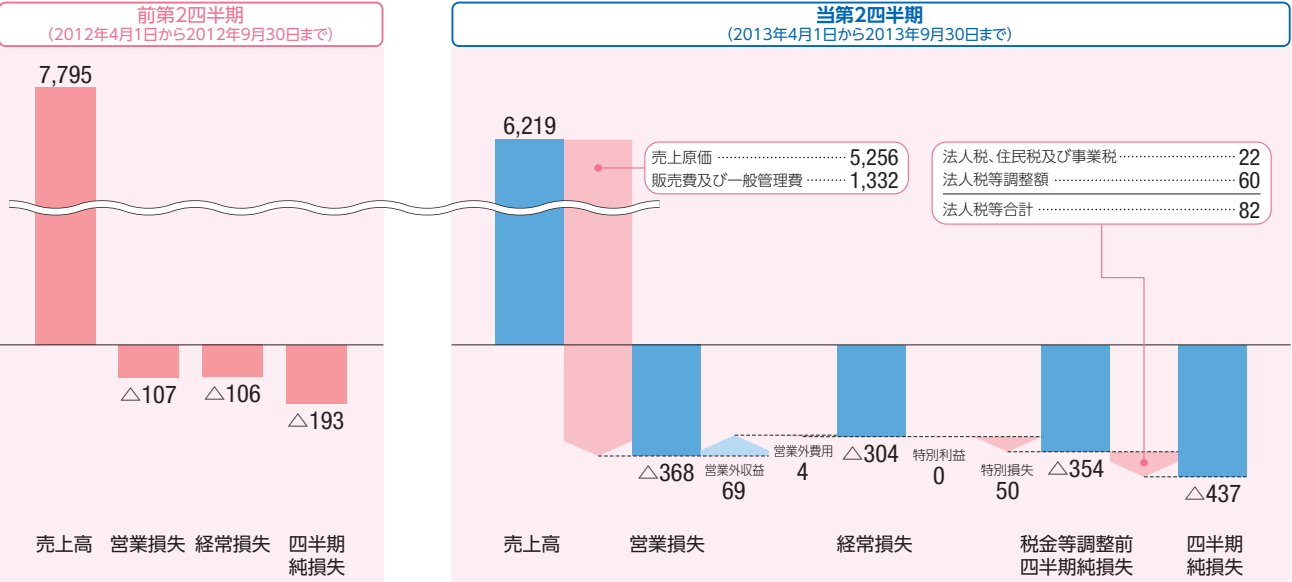
○源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
○本ご案内は、上場株式の配当金に係る税金について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問い合わせください。本ご案内は平成25年8月時点の情報をもとに作成しております。



四半期連結決算概要(要旨)

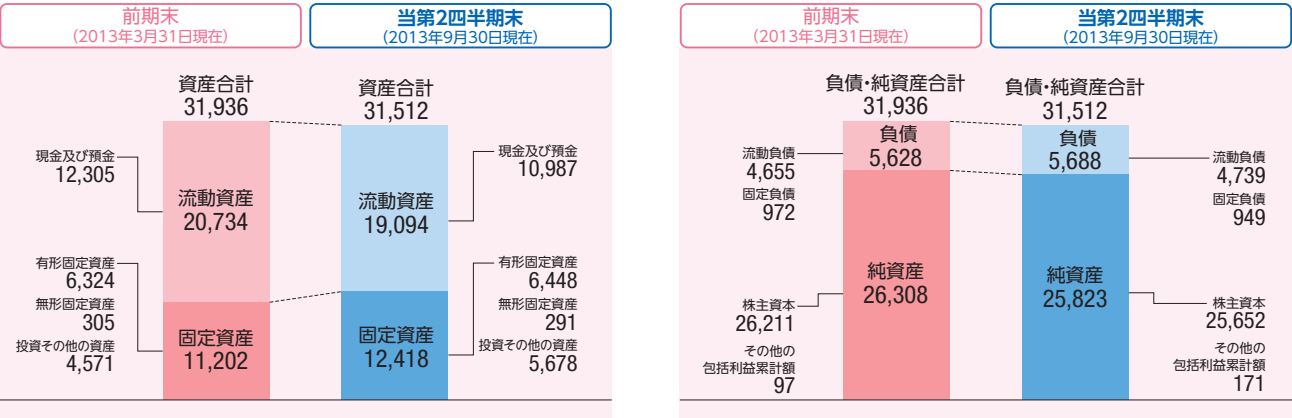
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



連結貸借対照表の概要

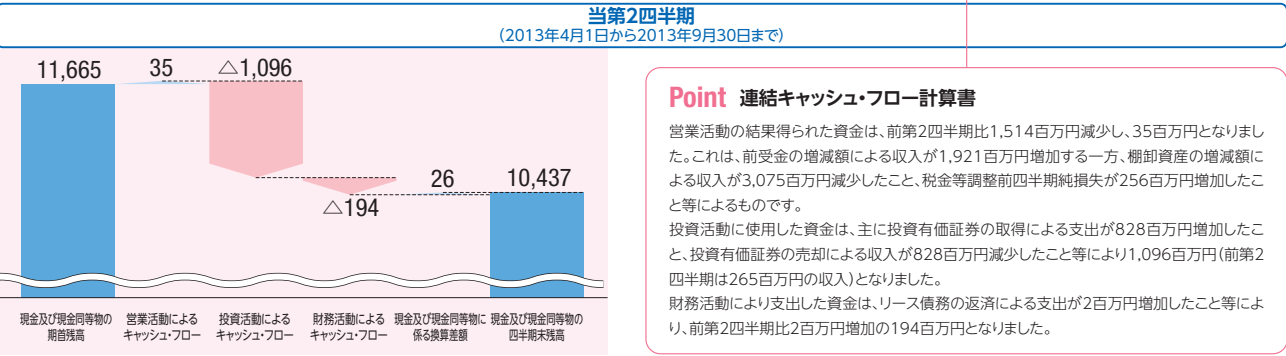
(単位：百万円)



Consolidated Financial Statements

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

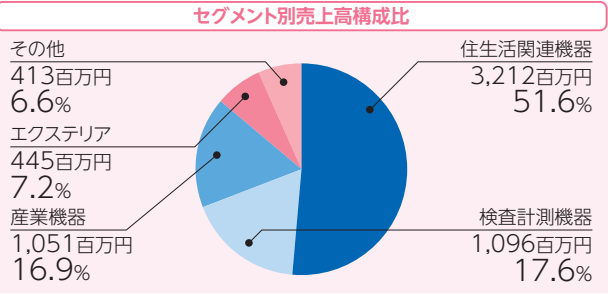
(単位：百万円)



セグメント別概況

(単位：百万円)

	売上高(外部顧客への売上高)			セグメント損益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減率	前第2四半期	当第2四半期	増減率
住生活関連機器	2,438	3,212	31.7%	△217	△115	－
検査計測機器	3,449	1,096	△68.2%	119	△309	－
産業機器	994	1,051	5.8%	25	86	234.7%
エクステリア	444	445	0.2%	△56	△41	－
その他	468	413	△11.7%	10	16	60.8%
セグメント間取引消去	－	－	－	11	△5	－
合 計	7,795	6,219	△20.2%	△107	△368	－





会社概要

会社概要 (2013年9月30日現在)

商 号 タカノ株式会社
本社所在地 長野県上伊那郡宮田村137
創 業 1941年7月1日
設 立 1953年7月18日
資 本 金 20億1,590万円
事 業 内 容 事務用椅子、その他椅子等の
オフィス家具、ばね、エク
スティア製品、エレクトロニク
ス関連製品、医療・健康福祉
機器の製造ならびに販売
従 業 員 数 452名
上場取引所 東京証券取引所市場第一部

グループ会社 (2013年9月30日現在)

- 株式会社ニッコー
住 所 長野県上伊那郡宮田村
事 業 内 容 工具・器具機械等の仕入販売
資 本 金 90百万円
- タカノ機械株式会社
住 所 長野県上伊那郡宮田村
事 業 内 容 省力化機械の製造販売
資 本 金 50百万円
- 台湾鷹野股份有限公司
住 所 中華民国台中市
事 業 内 容 検査装置の保守サービス
資 本 金 20百万新台湾元
- タカノコリア株式会社
住 所 韓国京畿道安養市
事 業 内 容 検査装置の製造販売
資 本 金 10億ウォン
- 上海鷹野商貿有限公司
住 所 中華人民共和国上海市
事 業 内 容 オフィス椅子等の仕入販売
資 本 金 25万米ドル
- 香港鷹野國際有限公司
住 所 中華人民共和国香港特別行政区
事 業 内 容 エレクトロニクス製品および製
品にかかる部品等の仕入販売(輸
出入)
資 本 金 1百万香港ドル

※上記グループ会社はすべて出資比率100%の子会社です。

役 員 (2013年9月30日現在)

代表取締役社長 鷹 野 準
常 務 取 締 役 鷹 野 力
常 務 取 締 役 小 田 切 章
常 務 取 締 役 大 原 明 夫
取 締 役 窪 田 守 男
取 締 役 久 留 島 馨
取 締 役 臼 井 俊 行
取 締 役 黒 田 章 裕
(社 外 取 締 役)
取 締 役 八 代 隆 二
(社 外 取 締 役)
常 勤 監 査 役 戸 枝 茂 夫
監 査 役 長 谷 川 洋 二
(社 外 監 査 役)
監 査 役 小 澤 輝 彦
(社 外 監 査 役)

ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。是非ご覧ください。



<http://www.takano-net.co.jp>

Corporate Profile

株主優待制度のご案内

2013年度の株主優待は、2013年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは下記の6点の商品のなかから1点お選びいただき贈呈いたします。なお、商品は12月中旬*までに発送する予定です。
100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへは、12月上旬に当社で販売している「高嶺ルビーはちみつラスクセット」をお送りいたします。
※商品の適期にお送りするため「ワイン」「りんご」「山いも」および「市田柿」は発送時期が前後することがございます。



株式の状況 (2013年9月30日現在)

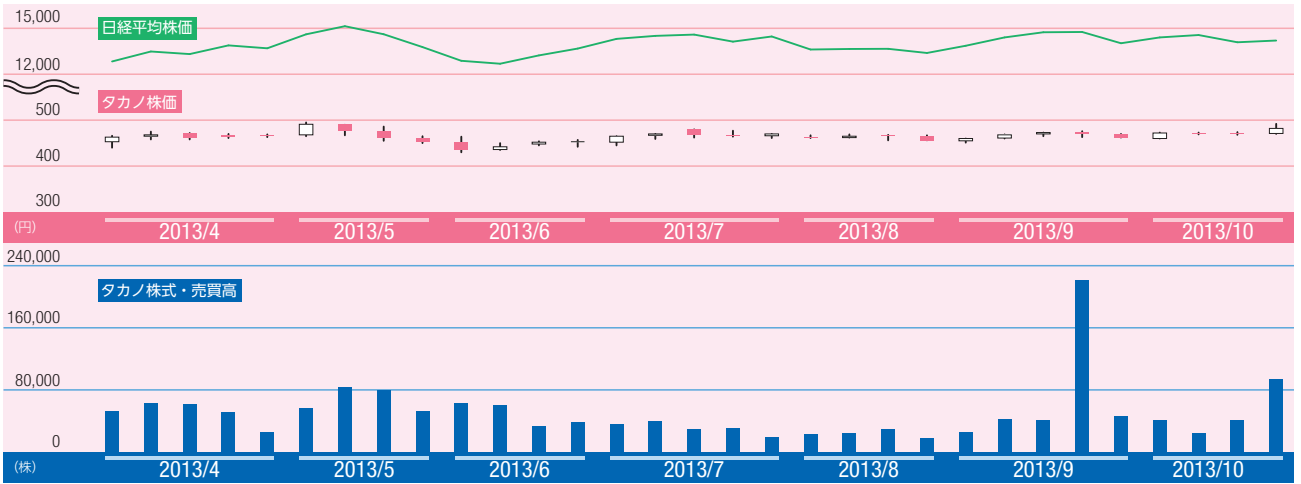
● 株式・株主の総数
発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 15,721,000株
株主数 6,844名

●大株主

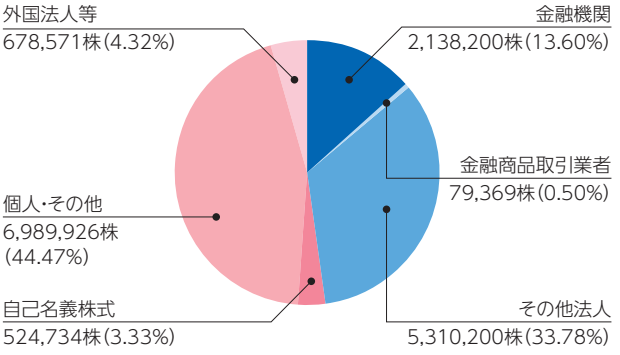
株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	13.68%
堀井 朝運	1,487,400株	9.46%
日本発条株式会社	1,151,500株	7.32%
みずほ信託銀行株式会社	1,000,000株	6.36%
株式会社鷹山	955,700株	6.07%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	543,200株	3.46%
タカノ株式会社	524,734株	3.33%
鷹野 準	459,600株	2.92%
鷹野 力	421,400株	2.68%
一般財団法人鷹野学術振興財団	330,000株	2.09%

(注) みずほ信託銀行株式会社の所有株式数は、すべて日本発条株式会社の信託財産であります。

●株価の推移



●所有者別株式の分布状況



Stock Information